

MATSUDO COUPLES♥01

玉井 亜久里 さん

AGURI TAMAI

1990年生まれ。松戸市出身。
公務員として都内に勤務。
高校時代は野球部で活躍、今もスポーツや
キャンプを楽しむアウトドア派。休日は近隣
のキャンプ場や「21世紀の森と広場」で自然
と触れ合っている。

玉井 瑞穂 さん

MIZUHO TAMAI

1991年生まれ。習志野市出身。
看護師として都内に勤務。
江戸川の河川敷でピクニックをする身近な
外出から海外旅行まで、様々な楽しみを見
つけながら、仕事と癒しの理想的なバランス
を実現。

松戸に住み東京で働く。これが2人のニューステータス。



2人が出会ったのは宮古島。友人とス
キューバダイビングに来ていた亜久里さんと
カメラが趣味で星空の撮影に来ていた瑞穂さ
ん。話してみると、実は2人とも千葉県民で
同じ高校の1学年違いだったという、ドラマ
のような展開が始まりだった。

2人が結婚したのは2021年5月。当
初は勤務先がある都内に住まいを探したが、
色々検討するうちに「やっぱり松戸がいいね」
となった。その理由は、まず交通の利便性。
電車の路線も多く都内への通勤がスムーズな
こと、それに、高速道路も通っているからス
ノーボードにも行きやすい。旅行好きな2人
にとって、羽田空港や成田空港が近いことも
都合がいい。

2つ目の理由は子育て環境。「松戸市は共
働きの子育て支援がしっかりしていて、待機
児童もゼロだと聞きました。私も看護師の仕
事は一生続けたいので、松戸市の子育て環境
には期待しています」。「松戸市には身近に豊
かな自然があります。僕も子どもの頃から土
や水、草や生き物と触れ合ってきたので、子
どもができたなら一緒に遊びたいですね」。

東京で働く「オン」と松戸でくつろぐ「オ
フ」の切り替えを大切にする暮らし方。それ
が2人の生活スタイルだ。「明るく元気に！
そして豊かな心を育める家庭を築いていき
たいです」と爽やかな亜久里さんと瑞穂さん。
若い世代が明るい雰囲気のある街をつくり、そ
こに人が集まる。新しい松戸の都合のいい暮ら
しに、2人は溶け込んでいる。

MATSUDO

カップルに聞く、松戸の魅力。

この人と、この街で生きていく。
未来を一緒につくっていく。
それはとても幸せなことだ。
だから、様々な背景をもつ
4組のカップルに聞いてみることにした。
松戸市で暮らす理由は？
この街の魅力って？
見えてきた松戸市が愛される理由。
そこには、それぞれが選んだ
幸せのかたちがあった。

COUPLES